



ローカル企業でもグローバルビジネスの中に飛び込まなくてはならない昨今、大きな障壁は言葉でしょう。今回は翻訳や通訳などの業務を通じて、企業が異文化とふれあうお手伝いをする株式会社ブリジックの木村由貴子社長に話をうかがいました。

企業対象に行ってい
る英語研修風景

「異文化間コミュニケーションの橋渡し役として活躍したい」

(株)

ブリジックは平成26年に誕生したばかりの若い会社ですが、木村社長は翻訳・通訳業務に15年以上の経験を持っています。大学卒業後に東京で翻訳の仕事をしていましたが、結婚を機に故郷の矢板市へ戻ってきました。そして宇都宮市にある翻訳や通訳を手がける会社に入社し、大手自動車会社の開発現場で、ス

キルを磨いていきました。

育ててくれた翻訳会社の社長の引退に合わせて、自らも

「言葉や文化を通じて、より深く企業のお手伝いをしたい」と考え、独立開業をして、現在に至っています。

「創業3年目ではございますが、おかげさまで多方面から声をかけていただいております」と話す木村社長ですが、

もちろんそれは社長以下スタッフの語学力、翻訳スキルへの信頼が高いからこそでしょう。また、前職が自動車メーカー関連業務であったため、県内の工業系企業へのネットワークを作りやすかったことも、プラスだったそうです。

大学時代には、異文化間コミュニケーションを専攻していた木村さん。社名の由来も「単なる翻訳ではなく、言葉を通じた文化の橋渡し役になりたい」という気持ちがこめられているとのことです。

「せつから海外とのビジネスチャンスが生まれても、言葉の

問題でうまくいかないケースが少なくありません。私どもでは、機械的な翻訳ではなく、文化的な背景も考慮した、ていねいな仕事を心がけています」

「言語習得は個々人のスキルアップだけでなく企業力アップにも、重要です。また、研修の場や機会を提供することは、余暇の有効活用や企業の福利厚生にもつながります」

今後は、翻訳部門だけでなく研修部門にも力を入れ、より広い範囲の顧客サービスを実現し、企業が「一步先へ」進むお手伝いをしていきたい——そう、木村社長は考えていま



ビジネス文書の翻訳は同社事業の柱のひとつ



本社入口にある看板

経営理念

一步先へ

国境を、言葉を、
そして文化を超えて

Information

株式会社 ブリジック
代表取締役 木村 由貴子
設立／平成26年10月
所在地／矢板市幸岡1373
☎ 0287-55-0011
☎ 0287-43-9134
<http://bridgic.com>

株式会社ブリジック
代表取締役 木村 由貴子 氏

